



## 「R」 知りたい好奇心 こうきしん

世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
科学、歴史など、詳しい先生に解  
き明かしてもらいましょう。

# 「正常化の偏見」を邪魔する

台風の多い季節です  
ね。皆さん、天気予報

本当に大丈夫?

見てどのように感じ  
ますか。台風や雨、特に  
豪雨による水害は日本で  
発生しやすい自然災害  
の一つです。堤防やダム  
がでている日本では  
ありますが、それでも水  
害や土砂災害には気を  
付けなければなりません

水害に限らず、自然災  
害の危険が身に及びそう  
だと感じたとき、あなた  
は何を考えるでしょう  
か。「早く避難所へ!」「非  
常袋持つて!」「いや、  
外は水が来ていて危険だ  
から2階に上がつて!」。

このようすはやく適切  
な防災行動を起こすこと  
は身の安全を守るために  
大切なことです。しかし  
ここで、「避難するほ  
どではないかもしない  
な」間違った情報かも  
何を考慮するでしょう  
か? 「以前も大丈夫だつ  
たから今回も大丈夫」と  
いう考えが頭をかすめ  
ることも少なくないので  
す。そう、この心理傾向  
こそが防災行動を邪魔す  
る原因なのです。これま  
で多くの自然災害で見ら  
れたこの現象は「正常  
化の偏見」(危険を危険  
と感じないように思い込  
むこと)と呼ばれます。  
これが「正常化の偏見」  
(危険を危険と直面して  
いるのに、「大丈夫かも」などと  
言つて何の行動も起こさ  
なければ、命の危険も  
考えられます)。

しかしこの心理は私  
たちにとって悪いものか  
と言えば、そうではない  
のです。毎日さまざまな  
度の恐怖や不安など  
を感じないように、この  
心理が働いて、私たち  
は心の平静を保つこと  
ができるのです。

（山梨大学院医学工  
学総合研究部国際流域  
環境研究センター 稲垣意  
地子）

情 報 軽 視 し な い で

では、どうすればいい  
のでしょうか。まずは、日  
頃から自分の地域があ  
やすい自然災害を知つて  
おくことが大切です。そ  
して、危険が予想される  
場合にテレビやラジオ、  
ウェブサイトや携帯メー  
ル等を通して発信される  
情報に注意しておくこ  
とです。激しい大雨の場  
合には聞こえにくくなつ  
てしまふ防災無線です  
が、「何かを伝えている」  
ことはわかる場合もあり  
ます。さらに、それらの  
情報を後、避難勧告や指  
示が発令されたときは、  
軽視しないことです。「い  
つもと違う」ということ  
を理解するだけでも、適  
切な防災行動を取りやす  
くなります。もし、危険  
な場合に「大丈夫」とい  
う気持ちが生じたら、  
「正常化の偏見かも?」  
と疑つて、状況をし  
っかり確認しましょう。